

報 雜

◎人 事

岡山醫科大學教授	八木田 九一郎
岡山醫科大學教授	好 本 節
岡山醫科大學教授	田 村 於 兎
岡山醫科大學教授	生 沼 曹 六
岡山醫科大學教授	池 上 馨 一
依願免本官	(3月31日)
熊本高等工業學校事務官	大 西 英 男
依願免本官	(3月31日)
軍事保護院醫官	日 下 連
陸絨高等官四等	(3月31日)
厚生技師	上 野 博
陸絨高等官五等	(3月31日)
岡山醫科大學教授	北 山 加 一 郎
陸絨高等官一等	(4月1日)
岡山醫科大學教授	池 上 馨 一
賜本俸三級俸	
職務俸金千八拾圓下賜	(3月30日)
熊本高等工業學校事務官	大 西 英 男
四級俸下賜	(3月30日)
厚生技師	上 野 博
四級俸下賜	(3月31日)
軍事保護院醫官	上 田 知 二
七級俸下賜	(3月31日)
軍事保護院醫官	坪 田 立 也
八級俸下賜	(3月31日)
軍事保護院醫官	上 田 徹 也
九級俸下賜	(3月31日)
從四位	池 上 馨 一
絨正四位	(3月30日)
正六位	中 井 良 平
絨從五位	(3月15日)

○赤木五郎君 滿洲國佳木斯大學へ轉勤
 ○北村直次君 南支海南島海口市同仁會海南島衛生研究所へ轉居
 ○住友文治君 岡山醫科大學三宅外科教室へ歸任
 ○岩藤良秋君 吳市東鹿田町252へ轉居

◎五教授停年勇退さる

八木田、好本、田村、生沼、池上の五教授には停年の爲3月31日附を以て勇退せられたり、其の略歴下記の如し

八木田九一郎 教授

明治10年7月10日 岡山市門田屋敷237 = 生ル
 明治34年11月5日 大阪醫學校卒業
 明治37年6月1日 岡山醫學專門學校解剖學及組織學講師ヲ囑託
 明治37年8月31日 任岡山醫學專門學校助教授
 明治40年10月24日 任岡山醫學專門學校教授
 明治44年7月25日 論文ヲ提出シテ醫學博士ノ學位ヲ受領ス
 大正11年4月1日 任岡山醫科大學助教授兼岡山醫科大學附屬醫學專門部教授
 大正11年9月6日 任岡山醫科大學教授兼任岡山醫科大學附屬醫學專門部教授
 大正15年1月13日 歐米各國へ出張ヲ命ス
 大正15年11月9日 歸任
 昭和3年1月18日 陸絨高等官1等
 昭和9年10月6日 絨勳2等授瑞寶章
 昭和10年5月18日 賜本俸1級俸
 昭和11年8月1日 絨從3位
 昭和18年3月31日 依願免本官

好本節教授

- 明治15年7月7日 大阪市東區瓦町1丁目ニ生
ル
- 明治36年7月 第六高等學校卒業
- 明治40年11月20日 京都帝國大學京都醫科大學
卒業
- 明治44年2月17日 任岡山醫學專門學校教授
- 大正7年2月8日 小兒科學研究ノ爲滿2年間
米國、英國、佛國へ留學ヲ命ス
- 大正9年8月25日 歸朝
- 大正11年4月1日 任岡山醫科大學教授兼岡山
醫科大學附屬醫學專門部教授
- 大正11年12月26日 醫學博士ノ學位受領
- 大正15年12月24日 歐米各國へ出張ヲ命ス
- 昭和2年10月26日 歸朝
- 昭和6年3月5日 補岡山醫科大學附屬醫院長
- 昭和8年3月27日 依願岡山醫科大學附屬醫院
長ヲ免セラル
- 昭和9年4月9日 賜本俸1級俸
- 昭和10年12月7日 敘勳2等授瑞寶章
- 昭和14年9月15日 敘從3位
- 昭和18年3月31日 依願免本官

田村於兔教授

- 明治16年3月30日 福島縣安達郡二本松町3ノ
56ニ生ル
- 明治37年7月 第一高等學校卒業
- 明治41年12月18日 京都帝國大學福岡醫科大學
卒業
- 明治44年11月20日 任九州帝國大學醫科大學助
教授
- 大正元年11月5日 病理學研究ノ爲滿3箇年間
獨逸國へ在留ヲ命ス
- 大正3年11月16日 歐洲動亂ノ爲歸朝
- 大正4年9月20日 任岡山醫學專門學校教授
- 大正9年10月8日 醫學博士ノ學位受領
- 大正11年4月1日 任岡山醫科大學教授兼岡山

醫科大學附屬醫學專門部教授

- 大正15年1月13日 歐米各國へ出張ヲ命ス
- 大正15年11月5日 歸朝
- 昭和6年11月9日 任岡山醫科大學長兼岡山醫
科大學教授
敘高等官1等
- 昭和10年11月2日 敘勳2等授瑞寶章
- 昭和14年5月15日 補岡山醫科大學臨時附屬醫
學專門部主事
- 昭和14年6月30日 學術研究會議會員被仰付
- 昭和14年9月15日 敘從3位
- 昭和14年8月6日 滿洲國及中華民國へ出張ヲ
命ス
- 昭和14年9月27日 歸朝
- 昭和15年2月3日 免本官兼任岡山醫科大學教
授
- 昭和15年2月3日 岡山醫科大學臨時附屬醫學
專門部主事ヲ免ス
- 昭和18年3月31日 依願免本官

生沼曹六教授

- 明治9年8月18日 金澤市玄蕃町1番町2番地
ニ生ル
- 明治31年11月 第四高等學校醫學部卒業
- 明治32年9月12日 任東京帝國大學醫科大學助
手
- 明治39年9月 私立東京慈惠會醫院醫學專
門學校教授奉職
- 明治41年9月 生理學研究ノ爲獨逸國及英
國ニ留學ス
- 明治44年9月 歸朝
- 大正2年4月18日 醫學博士ノ學位受領
- 大正11年4月1日 任岡山醫科大學教授
- 昭和5年2月1日 陸軍高等官1等
- 昭和6年3月31日 歐米各國へ出張ヲ命ス
- 昭和6年12月29日 歸朝
- 昭和9年3月27日 賜本俸1級俸

昭和12年8月7日 敘勳2等授瑞寶章
 昭和14年8月7日 滿洲國及中華民國へ出張ヲ命ス
 昭和14年9月16日 歸朝
 昭和15年8月1日 敘從3位
 昭和18年3月31日 依願免本官

池上 馨 一 教授

明治10年12月14日 岡山縣上房郡高梁町大字鍛冶町19番地ニ生ル
 明治33年11月22日 第三高等學校醫學部卒業
 明治36年4月9日 任岡山醫學專門學校助教授
 明治41年5月7日 任長崎醫學專門學校教授
 大正13年4月25日 任岡山醫科大學助教授
 敘高等官3等
 昭和2年12月21日 解剖學研究ノ爲滿2年間獨逸國へ在留ヲ命ス
 昭和4年11月20日 歸朝
 昭和6年8月18日 本俸1級降下賜
 昭和16年5月9日 敘勳3等授瑞寶章
 昭和18年3月30日 任岡山醫科大學教授
 敘高等官2等
 賜本俸3級俸
 敘正4位
 昭和18年3月31日 依願免本官
 敘從3位

◎學位授與

豫て論文を岡山醫科大學に提出し學位を請求中なりし岡崎遜也、松浦祐一、大西雅一の3君は4月16日附、東島辰雄、黒川孝一、渡邊武の3君は4月20日附を以て同大學より醫學博士の學位を授與せられたり、其の論文下記の如し

岡崎 遜 也 君

主論文

蝶腺膽汁ノ膽汁酸ニ就テ (獨文)

第1編 蝶腺膽汁ノ膽汁酸及ビ「ステロイド」ニ就テ

昭和18年6月 外字生化學雜誌第36卷第3號ニ發表ノ豫定

第2編 「ホモヒヨラン」 $C_{25}H_{44}$ 及ビ「ピスノルステロヒヨラン」 $C_{26}H_{46}$ ノ合成ト蝶腺膽汁ノ「テトラオキシソホモヒヨラン」ヨリ誘導セル「イソホモヒヨラン」ニ就テ

昭和18年6月 外字生化學雜誌第36卷第3號ニ發表ノ豫定
 他ニ參考論文7篇

松浦 祐 一 君

主論文

聽覺ニ關スル比較生理學的研究 (邦文)

第1編 鮎、金魚ノ聽覺特ニ鰾トノ關係ニ就テ
 昭和18年4月 岡山醫學會雜誌第55年第4號ニ發表ノ豫定

第2編 龜ノ蝸牛殼標本ニ見タル一新知見並ニ此ノ所見ヨリ考ヘラレル聽覺ノ「メカニズム」ニ關スル考察ニ就テ
 昭和18年4月 岡山醫學會雜誌第55年第4號ニ發表ノ豫定

第3編 鸚鵡、「セキセイインコ」ノ聽能ニ就テ
 附 鳥類ノ發聲器ニ就テ
 昭和18年5月 岡山醫學會雜誌第55年第5號ニ發表ノ豫定
 他ニ參考論文3篇

大西 雅 一 君

主論文

低氣壓下脂肪代謝ニ關スル實驗的研究補遺(邦文)

第1編 低氣壓ノ脂肪代謝ニ及ボス影響ニ就テ 第1報
 昭和18年4月 岡山醫學會雜誌第55年第4號ニ發表ノ豫定

第2編 低氣壓ノ脂肪代謝ニ及ボス影響ニ就テ 第2報
 昭和18年4月 岡山醫學會雜誌第55年第4號ニ發表ノ豫定

第3編 低氣壓下脂肪代謝 = 及ボス「ビタミン」ノ作用 = 就テ

附 耐高力 = 及ボス「ビタミン」Bノ作用

昭和18年5月 岡山醫學會雜誌第55年第5號 = 發表ノ豫定

第4編 低氣壓ノ尿中「アセトン」體消長 = 及ボス影響 = 就テ

昭和18年6月 岡山醫學會雜誌第55年第6號 = 發表ノ豫定

他 = 參考論文4篇

東 島 辰 雄 君

主 論 文

「カリウム」= 關スル生理學的研究 (邦文)

第1編 筋短縮時ノ「カリウム」ノ遊離 = 就テ

昭和18年5月 岡山醫學會雜誌第55年第5號 = 發表ノ豫定

第2編 2,3「アルカロイド」ノ筋短縮 = 及ボス影響

昭和18年6月 岡山醫學會雜誌第55年第6號 = 發表ノ豫定

第3編 中樞神經組織 = 於ケル「アセチルヒヨリン」= ヨル「カリウム」ノ遊離 = 關スル研究補遺

昭和18年7月 岡山醫學會雜誌第55年第7號 = 發表ノ豫定

第4編 海鼠筋ノ「カリウム」ノ滲透 = 關スル研究補遺

昭和18年8月 岡山醫學會雜誌第55年第8號 = 發表ノ豫定

他 = 參考論文3篇

黒 川 孝 一 君

主 論 文

腦脊髄液壓位 = 液内藥劑移行 = 關スル知見補遺 (邦文)

第1編 腦脊髄液壓曲線撮影法 = 就テ

昭和18年5月 大日本耳鼻咽喉科會會報第49卷第5號 = 發表ノ豫定

第2編 正常家兎腦脊髄液壓曲線 = 就テ

昭和18年5月 大日本耳鼻咽喉科會會報第49卷第5號 = 發表ノ豫定

第3編 高張溶液ノ腦脊髄液壓 = 及ボス影響 = 就テ

昭和18年5月 大日本耳鼻咽喉科會會報第49卷第5號 = 發表ノ豫定

第4編 低張溶液ノ腦脊髄液壓 = 及ボス影響 = 就テ

昭和18年5月 大日本耳鼻咽喉科會會報第49卷第5號 = 發表ノ豫定

第5編 持續的腦脊髄液排出法 = 依ル「アクチゾール」及ビ「プロントシール」ノ液内移行 = 關スル研究

昭和18年5月 大日本耳鼻咽喉科會會報第49卷第5號 = 發表ノ豫定

他 = 參考論文6篇

渡 邊 武 君

主 論 文

嗅球及ビ嗅粘膜 = 於ケル濱崎氏「ケトエノール」顆粒ノ研究 (邦文)

第1編 家兎 = 就キテ

昭和17年5月 大日本耳鼻咽喉科會會報第48卷第5號 = 發表

第2編 海鼠 = 就キテ

昭和17年9月 大日本耳鼻咽喉科會會報第48卷第9號 = 發表

第3編 白鼠 = 就キテ

昭和18年4月 岡山醫學會雜誌第55年第4號 = 發表ノ豫定

第4編 二十日鼠 = 就キテ

昭和18年5月 岡山醫學會雜誌第55年第5號 = 發表ノ豫定

第5編 人體 = 就キテ

昭和18年6月 岡山醫學會雜誌第55年第6號 = 發表ノ豫定

他 = 參考論文3篇